



Nihongo Network News

2004.3.19発行

No. 45

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 ☎03-3235-1171

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.4

東京日本語ボランティア・ネットワーク 満10歳を迎える



2003年12月7日(日)午後1時から、東京ボランティア市民活動センターの大会議室において、「10周年記念の集い」が開催されました。

「いま 日本語ボランティアは！！—とともに暮らすまちをめざして—」と標題を掲げ、足立区、大田区、葛飾区、渋谷区、台東区、国立市、西東京市の各地で活動しているボランティア日本語教室から7人の皆さんが活動報告、今後への

提言などを発表しました。隣人として地域に住む外国籍住民の皆さんを支援していることに変わりありませんが、学習者の国籍、地域行政との係わり方、活動の姿勢、悩みなど、それぞれに地域性が感じられました。

後半、4つのグループに分かれ、活発な話し合いが持たれました。終了後、懇親会をする予定でしたが、話し合いを中断することが惜しまれ、途中からはお茶を飲みながらの話し合いになりました。

日本語ボランティアのあり方、学習者

の継続性のなさ、会場確保の悩みなど、相変わらず問題点としてとりあげられましたが、発表者の一人の所属する「日本語ぐるりっと」（大田区）のように、子供の日本語支援に特化して取り組んでいるグループもあり、学齢期の子供の日本語支援について関心が高まっていました。時間の問題もあって、この件は次回の話し合いにということになりました。10年前を彷彿とさせる議論沸騰に心地よい興奮を覚えながら、5時に閉会しました。

林川玲子

日本語ボランティア活動に関心を持つ人、これから係わりたい人たちのために開催してきた「日本語ボランティア入門講習会」が、この3月(12日、26日)を最後に、終了します。丸9年継続しましたが、最近各地で日本語ボランティア講座が開かれ、TNVNの入門講習会の参加者も減少し、もはや任務を果たしたものと考えます。

TNVNが活動を開始して2年目の1995年4月、日本語ボランティアへの関心が高まってきたこともあり、地域の活動に参加する時の助けになればと、東京都丸の内庁舎内「生涯学習



「日本語ボランティア入門講習会」 3月26日に幕を閉じる

情報センター」でスタートしました。1997年1月からは「東京ボランティアセンター」現「東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)」に移り、(1)日本語ボランティアとは？(2)日本語再発見(3)学習者はどんな人たちか？(4)日本語学習をどのように支援しているか？等の内容で、月に2回、第2・第4金曜日の午後と夜間に常設で開催してきました。

またスピーカーは当初それぞれの専門家に任せましたが、最近、長年の経験で力をつけた各地域で活動しているTNVNのボランティアスタッフが交代で担当しています。

一方、これまでに羽村市、武蔵村山市などの入門講習会に協力してきましたが、今後も、9年間の実績を生かし、各地域のご要望に応じて行きたいと思っています。

林川玲子



●武蔵村山市

「日本語ボランティア入門講習」に協力しました。

事務局に入った依頼の電話(03/6/17)から企画の計画を始めました。

東京都の中央北西部、武蔵丘陵を控える地域で村山団地をはじめ約66千人が生活するベッドタウン。最寄り駅は玉川上水駅(西武拝島線・多摩都市モノレール)で多摩都市モノレールが開通して立川と結ばれました。

武蔵村山市には結成されて半年の新しい日本語ボランティアグループ「日本語の会」があります。今回「日本語の会」や市民の厚い要望により武蔵村山市ボランティアセンターが「日本語ボランティア入門講座」を開催しました。講座は武蔵村山市ボランティアセンター：斎藤 由美子さん、武蔵村山日本語の会：寺沢三恵さんを中心に纏められました。

計画の趣旨

『市内には、1,000人近くの外国人が登録している。日常生活で必ず必要とされる日本語に困って生活している人も多く、このような人たちにとって、日本語学習の場は重要とされている。しかし、支援している団体では、ボランティア不足により学習者の方が多い時もあり、受け皿を大きく・強くする必要があります。』

地域に住む外国人が言葉に困らず、普通に生活が送れるよう早急に対応すべきであり、この講座をとおして、外国人の現状を知り、支援の方法を学び、そしてボランティア活動に参加するきっかけになるように養成講座を行う』

講座内容

- 日時：10月9.16.23.30 11月6日(木) 13:30～15:30
- 場所：ボランティアセンター会議室
- 主催：武蔵村山市ボランティアセンター

10月9日 ◎市内の日本語ボランティアの様子

寺沢三恵(武蔵村山日本語の会)

◎日本語ボランティアとは

梶村 勝利(早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 新宿区)

10月16日 ◎日本語再発見

林川 玲子(ビバ日本語教室 港区)

10月23日

◎学習者はどのような人たちか

木村 茂(グループWA 足立区)



10月30日

◎日本語学習をどのように支援しているか

山本 敬子(日本語ともの会 北区)

11月6日 ◎ボランティア教室を考える

岡田 美奈子(やさしい日本語 江東区)、梶村 勝利



この講座を受講された方々は市内に在住・在勤の主婦が中心で男性も数人、参加者の中には既に「日本語の会」で活躍されている方も多数、参加者は定員25名を超え、関心の多さを感じました。

地域での日本語ボランティア活動が大きく膨らんで住民の中で欠かせない活動になることを願っています。

参加者のアンケート回答から

◆今回の講座で市内の日本語ボランティアの活動があることを初めて知りました。何か人様のお役に立てることがないかと模索中です。5回の講習で自分にできることが見つかりたいです。◆大変参考になりました。これからボランティア活動を行うことがとても楽しみとなりました ◆気まぐれにでボランティアをしようと思って参加しましたが、日本語を外国人に教えることがこんなに難しいとは思いませんでした。しかし自分のためにも日本語をもう一度学び直し新しい発見をして行きたいと思えます ◆日本語教室とは、違ったボランティアのありかたがよくわかりました ◆他の教室の様子、全体の感じ等がつかめました ◆学習者の立場に立った学習方法をずっと探していたので、その方法のヒントが沢山あり、ためになりました

引き続き日本語ボランティア講習会の出前講習を行います。

3月6日・13日に 羽村ふれあい地域づくり公社で「日本語ボランティア入門講座」が開催されます。また しゅやボランティアセンター で同様の講習会が計画され、協力の依頼が来ています。

地域での日本語ボランティア活動はどのように進めていったらよいか一緒に考えてみませんか。

(梶村 勝利)



スーパーのチラシを使って学習

岡田 美奈子 やさしい日本語 (江東区)

2003年9月「やさしい日本語」の中級クラスで、イトーヨーカドーのチラシを使ってレッスンをしました。学習者は全員が主婦ですので様々な食品や安売りなど興味津々。語彙を増やし、暮らしに密着した漢字の読み方を学びながら会話をすすめていきます。生教材の使い方の一例としてご紹介します。

カラーコピー

学習者が複数の時はチラシをカラーコピーします。モノクロコピーよりだいぶ高くなりますが(A3で80円でした)色も大切な情報ですし、なにより迫力が違います。

サブプリント

チラシのほかにサブプリントを作って学習を進めていきます。

(1) 1 または 一 のつく言葉を探す

例…① 一枚、一本、1斤

例…② 均一、1割等々

チラシには様々な商品が載っています。物によって数え方が違うのでそれを探しながら色々な商品の日本名を確認します。スーパーでは名前を知らなくても買ってしまうのでいつも買っている物でも日本語の名前を知らない事も結構あります。よく買う商品名(食品だけでなく調味料なども)は確認し覚

えてもらいます。助数詞・数え方の学習は単調になりがちですし多くを使い分ける必要もありませんから覚えるのは、本、枚、人など基本的なものだけでよいでしょう。

(2) 外国の名前を探す

例…カナダ産豚肉、アメリカ産ブロッコリー、アイルランド産あじ、エクアドル産バナナ、メキシコ産アボガド等々
日本が世界中から食品を輸入している事が良く分かります。世界地図も用意しておくといよいでしょう。

(3) 旬の食べ物を探す

今美味しい食べものは何ですかと言ってサンマ、サツマイモなどをあげ、旬(意味の確認)の食品を捜します。「今日は月末で予算が少ないです。何を買いますか」とか「今日は予算がたっぷりあります。明日は子どもの運動会です。何を買いますか」などと話し合い、学習者同士調理法や食べ方を披露してもらいます。

(4) 語彙・表現を確認する

①半額、先着、冷凍食品、解凍、徳用などの語彙について読み方・意味を確認します。

②全品4割引、88円均一、お一人様1点限りなどの表現について意味と使

い方を確認します。

③冷凍⇔解凍、好況⇔不況などの反対語や不況・不景気などの類義語も学習します。

練習

①チラシに出てきた主な漢字・語彙を一覧表にして振り仮名をつけ読み方を復習します。

②日常よく使う基本漢字・語彙は書き順を確認し覚えてもらいます。これはホームワークにします。

発展

身の回りには様々な教材があります。マンションの広告は間取りや価格で話が弾みます。生協のカatalog、雛人形の広告など色の綺麗な物は目に付いたら取っておいて使ってみては、いかがでしょうか。求人広告はカラーでないのに迫力に欠けますが、職種、勤務地、労働条件などを比較してどの仕事が良いとかアルバイトとパートの違いは、などと話がひろがります。地下鉄の路線図も最近はずの大きな物が無料で手に入ります。お台場や六本木ヒルズへ遊びに行くにはどうやって行くと早くて安く行けるか、など話し合ったら楽しい会話になりそうです。

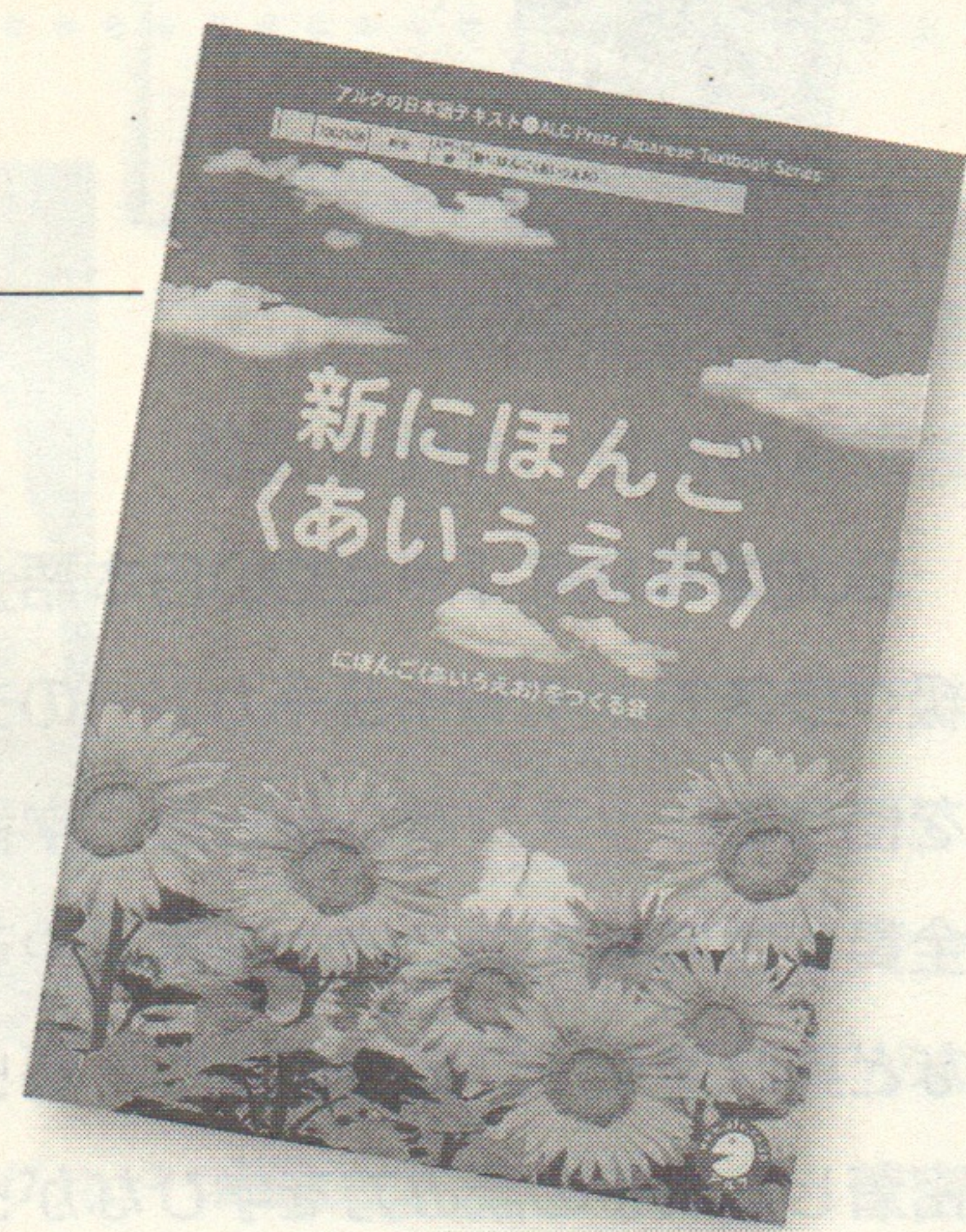
一押し の 教材

日本語学習の教材は数多くあります。しかし日本語ボランティア活動で実際に使えるモノを探すのはなかなか大変です。ここでは日本語ボランティアが使える「一押し教材」を出版社から自薦してもらいました。

ボランティア教室から生まれた入門期テキスト

新にほんご 〈あいうえお〉

- 著者：にほんご〈あいうえお〉をつくる会
- 判型：B5判 ●ページ数：96ページ
- 定価：1,200円＋税 ●発行：アルク



●皆さんの教室では、どのような日本語テキストを使っていますか？

市販のテキストを使っている方に聞くと、「ボリュームがありすぎる」「難しすぎる」「地域の外国人のニーズに合っていない」「楽しくない」「高い」など、さまざまな不満があるようです。これは、簡単に言えば、留学生やビジネスマン向けに作られたテキストを、ニーズの異なるボランティア日本語教室で使っていることによる弊害だと思われる。

●ボランティアの、ボランティアによる、ボランティアのためのテキストが作れないか

——そんな声から生まれたのが、この

『新にほんご〈あいうえお〉』です。もともとは大阪の日本語ボランティアグループによる手作り教材でしたが、毎日・朝日・読売などの各紙で紹介され、知られるところとなりました。新聞の影響は大きく、全国各地のボランティア教室から問い合わせ、注文が殺到しましたが、それによって当初発行した部数はあっという間になくなり、しばらく品切れ状態が続きました。その後、全国の日本語ボランティアからのニーズに応える形で、アルクが編集しなおして、2002年に発行する運びとなりました。

『新にほんご〈あいうえお〉』は、初めて日本語を学ぶ人が、

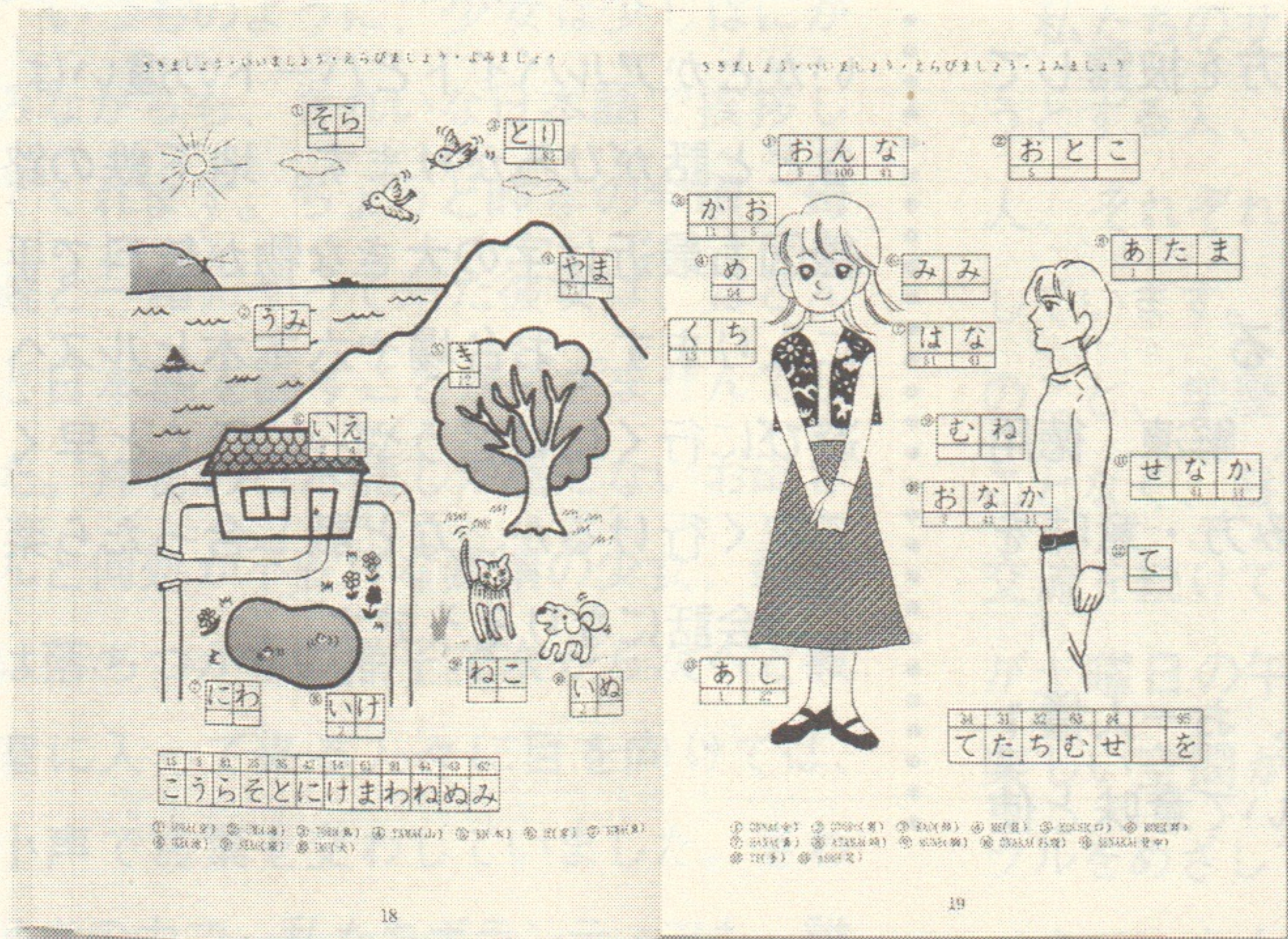
- ◆ひらがなやカタカナを読めるようになる
- ◆あいさつ程度の会話ができるようになる

- ◆生活に必要な単語が、聞き取れ、言えるようになる
- ◆ことを狙いにしています。学習者が独習するのではなく、学習支援者と一緒に進めていくスタイルのテキストですので、ボランティア教室で

使っていただくのが最も効果的です。共通語がなくても楽しく学べるように、語彙にはすべてイラストをつけました。巻頭には6カ国(英・中・韓・ポ・タイ・日)語による基本指示(きいてください/もういちど等)、巻末には切り離せるひらがなとカタカナの文字カードも付いており、実際のボランティア教室で使いやすい工夫が随所になされています。これを終了した後は、市販の初級テキストにスムーズに移行できます。

●内容

自己紹介/勉強するときを使うことば/あいさつのことばなど/文字(1)ひらがなの読み方書き方/ことばをおぼえる(1)名詞・形容詞・動詞/文字(2)カタカナの読み方書き方/ことばをおぼえる(2)カタカナ語/学習者によく聞かれる質問/生活の中の名詞/文字カード



つくば国際交流サロン

(財)茨城県国際交流協会つくば支所 つくば市吾妻1-10-1 (つくばセンター内)

<http://www.info-tsukuba.org/>

世界中の人々との出会い、集い、語らいを大切に

(財)茨城県国際交流協会つくば支所で日本語ボランティアをされている筑波大の一杉知佳さんに記事を寄せていただきました。



日本語教室は平成6年から始まり、つくば周辺に住む外国人を対象に、週1回2時間の授業を半年間タームで行っています。クラスは入門コース、初級Iコース、初級IIコースの3つにわかれ、各クラス約25名の学習者がいます。

茨城県つくば市にはボランティアの日本語教室が8箇所あります。茨城県全体では63箇所ある中で、かなり多いといえます。今回はその中の「つくば国際交流サロン」を紹介します。

「つくば国際交流サロン」はつくばで生活する日本人と外国人の方々が手を取り合いながら、お互いの文化の理解を深めたり、生活していくための情報を交換していくことを目的としています。日本語教室を始め、生け花教室や茶の湯教室、にほんごおしゃべりタイム、コーヒーアワー(つくばで活躍している外国人や日本人をゲストに迎え、テーマを決めて話を聞いたりおしゃべりする)等様々な交流活動をつくばセンター近くにある、つくばインフォメーションセンターにて行っています。

このインフォメーションセンターでの

学習者は研究者や研究者の家族が多いですが、最近は語学学校の講師をやっている方も多いです。そのため様々な国籍の方が日本語を習っています。日本語を勉強する目的を聞くと、「お店や銀行等で会話が出来るようになること」「読み書きが出来るようになること」など生活に関わるものが多いです。

授業が始まって1ヶ月半くらい経過した時に学習者にアンケートをとり、その後の授業に反映できる形をとって工夫しています。

半年の授業の最後に閉講式を行い、各クラス数名のスピーチが行われますが、半年間での上達ぶりが顕著に現れており、講師としては嬉しいかぎりです。学習者にとっても、この日本語教室に来ることで友達が出来たり、日本語を勉強して日本での生活が少し楽に

なったというようによい経験になっているようです。

このように(財)茨城県国際交流協会つくば支所が開く国際交流サロンでは、地域の人々が国籍を問わずたくさん交流を持てる場を提供しております。また、外国人のための無料法律・生活相談や「教えます」「売ります」「求めます」等の情報を交換できる情報伝言板を設置しており、つくばの生活を少しでも楽しく、快適に送ってもらえるような努力をしています。

日本語教室では近くの筑波大学の学生もボランティア講師を担当し、より生きた日本語・生活に関わる実用的な日本語を教えようと、講師は日々奮闘しています。

世界中の人々との出会い、集い、語らいを大切に、日本語や日本文化を理解することを通じて、日本に来てよかった、つくばに住んでよかったと思ってもらえるような、充実した社会の実現を目指し、これからも様々な交流活動を実施していきたいです。

お詫びと訂正

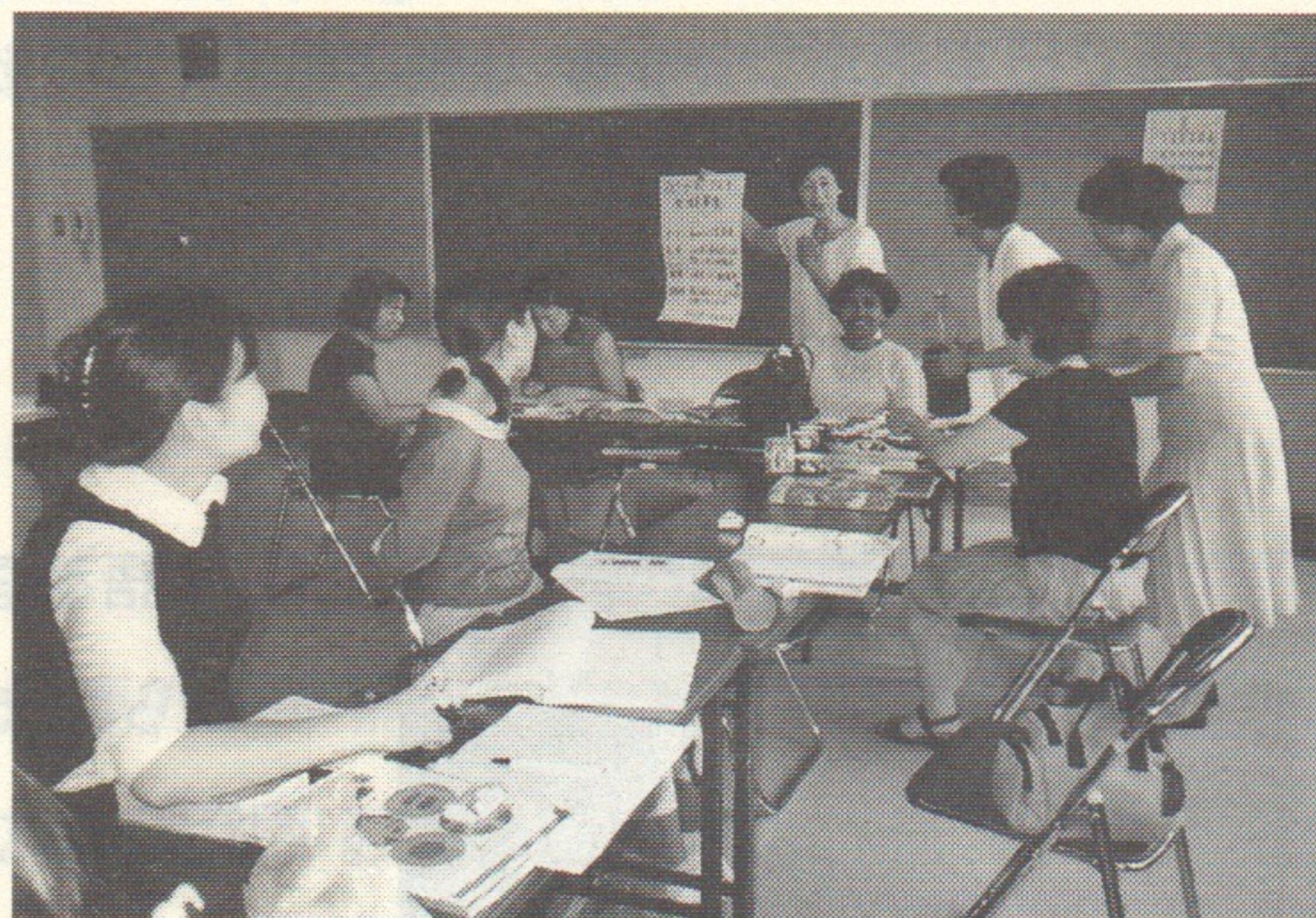
No.43 P5 標題「TAMA日本語共有ネットワーク」と記するところ「TAMA日本語共有ネットワーク」と誤記いたしました。関係団体には大変ご迷惑を掛けました。お詫びと共に訂正させていただきます。

Nice to Meet You

語学学習を通じて広がる交流の輪

八王子国際友好クラブ 日本語教室

高橋 陽子 (八王子市)



ボランティア自身もスキルアップを図るため、自主研修会を開き、日本語教授法の勉強をしています。

またIFCには日本語グループ以外にも、日本文化、食文化、異文化交流、リサイクルなどのグループがあ

り、グループ間の連携でどんどん交流の輪が広がっています。この2月には、日本文化体験ワークショップ、中学校訪問、ペルー料理講習会など行事が盛沢山で、日本語教室の学習者も大勢参加することになっています。これからも語学学習を通じて、いろいろな国の方々と交流・相互理解が深まることを願っています。

1992年に八王子公民館による日本語教室が開催され、その時教室運営をお手伝いしたことがきっかけで八王子IFCの日本語グループが誕生し、その後IFC独自のクラスも開設し、ずっと活動を続けてきています。

●現在ある教室

1.火曜クラス

(10:00~12:00 子安市民センター)
マンツーマン形式

2.水曜クラス

(10:00~12:00 子安市民センター)
中級

3.金曜クラス

(10:00~12:00 公民館)
初級…みんなの日本語I・IIの2クラス
(このクラスには、教師の他にボランティア4、5人が入り、授業のサポートをしています)

4.上記の教室以外に、個人レベルで学習者をサポート

日本語を共通の課題として

土曜日本語サークル

伊藤 和人 (豊島区)

「こんにちは」

いつものように、少女は少しはにかみながらも、きれいな日本語で挨拶してくれます。ちょうど昨年のお頃、母親と一緒にやって来た彼女は、ほとんど日本語を話すことができませんでした。片言の日本語しか話せないお母さんと何処か不安げな表情の少女、親子は落ちつかない様子で次から次へと教室に入って来る人々に目を向けては、小声で言葉を交わしていました。ざわめきの中で、私たちボランティアも、誰

がどのように対応するべきか、思案しているところでもありました。もちろん、するべきことは決まっています。日本の言葉を少しでも

理解してもらうこと。

私たちのサークルは、日本語を学ぼうとする人、日本語を教えようとする人、それぞれに開放された場所を提供しています。国籍・人種・宗教はむろんのこと、学歴・資格・年齢等にこだわることなく、日本語を共通の課題として交流を続けています。一人一人の意志が土曜日の午後集まって、仲良く、楽しい空間ができあがる、そんなサークルをめざして活動しています。

さて、少女はこの4月で中学3年生



になります。そして、今でも毎週明るい表情を見せてくれます。身長もずいぶん高くなって、日本語はとっくにお母さんのレベルを超えてしまいました。最近では学校で習っている古文に興味があるようで、いつも難しい質問をしては、担当者を困らせているようです。

学習者の成長もまた私たちの楽しみの一つです。

日本が大好きです

S・H / フランス
江戸川にほん語交流会 (江戸川区)

学習者の声

んと原宿に行きました。成人の日に着物を着ました。先生とすもうにいきました。楽しかったです。私は日本が大好きです。また、行きたいです。



私は12月から1月まで日本に行きました。3週間ぐらいホームステイをしました。飛行機でメルボルンから東京まで約15時間かかりました。最初のホストファミリーと京都に行ってお寺に行きました。天気はとてもよかったです。だから楽しかった。新幹線で大阪に行きました、おじいさんとおばあさんと晩ご飯をたべました。次の日、おじいさんと一緒に東京ディズニーランドに行きました。とても寒かったですが、楽しかったです。たくさん乗り物にのりました。スプラッシュマウンテンとプーさんのハニーハントにのりました。たくさん人がいました。カトウサキさ

銭湯

林基強 / 韓国
江戸川にほん語交流会 (江戸川区)

学習者の声

らいは必ず銭湯にいてゆっくりするのは。1週間の疲れが取れるし、体も温まり、血液循環もよくなるので、手ぬぐいを頭の上ののせると、本当に銭湯はまさに私の心の中の小さな楽園だと思います。

庶民の社交場の役割をはたしていた銭湯。これからもずっと銭湯デーを決めて続けていくつもりです。

私が銭湯に行くことになったのは、つい最近のことです。私の国には銭湯に入る習慣がありません。だいたいどの家庭でも風呂場があるので、冬は日本の秋ぐらいの寒さなので、わざわざほっかほかする銭湯に行くことはめったにないです。ほとんどシャワーで済むのです。日本での生活がもう5年目になりました。今までは毎日シャワーで済みましたが、今は時間がなくても、週1回く

ボランティアの声

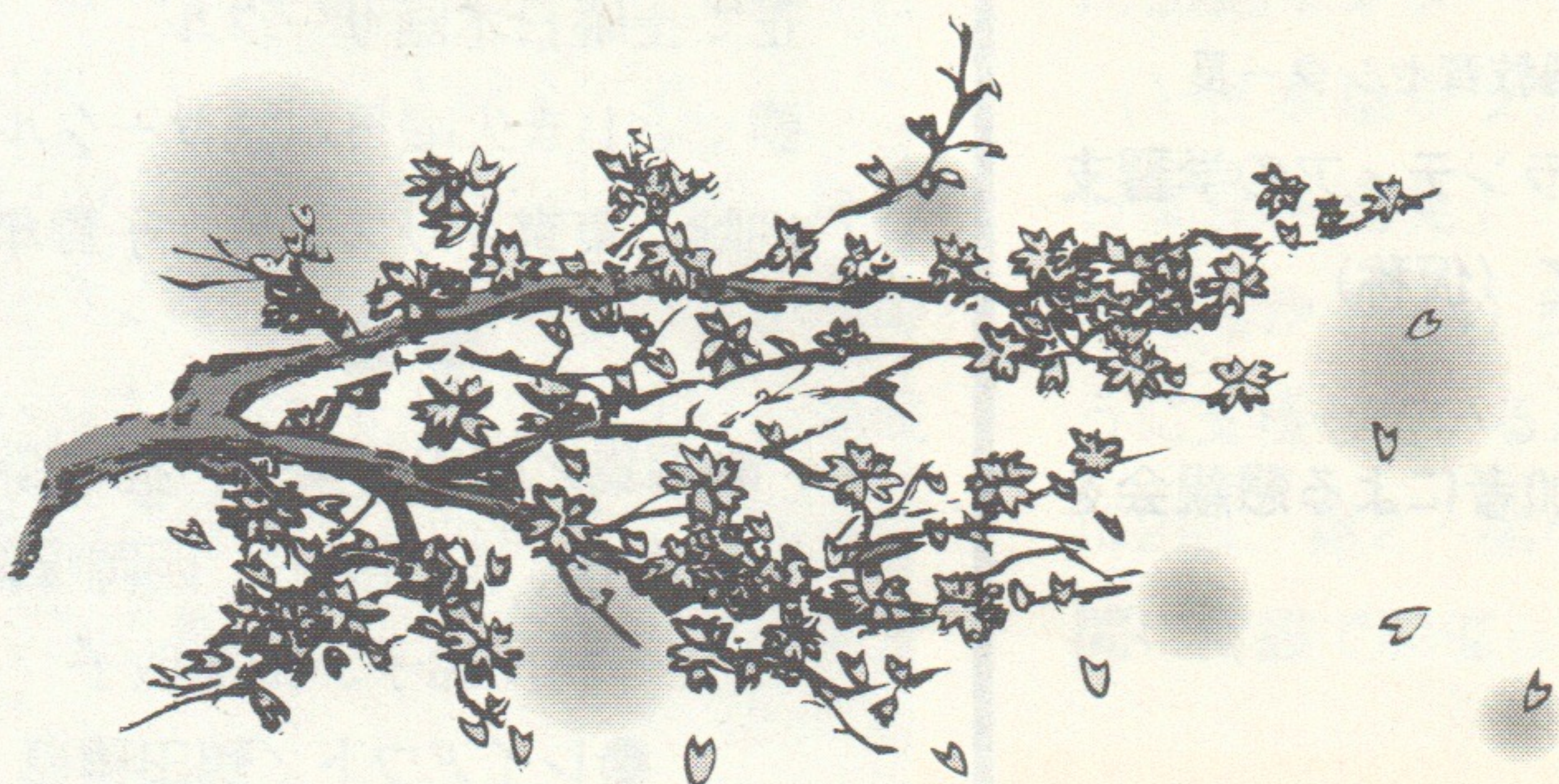
河田幸男
中央公園日本語教室 (北区)

小さな国際交流

冷たい木枯らしの吹く中、駅から歩いて15分、ボツボツと学習者やボランティアの人達が集まって来る。自転車で来る人、電車で来る人、歩いて来る人、そして今夜も賑やかな学習のひとときが始まる。ここ中央公園日本語教室は5つのグループが午前、午後、夜間と曜日と時間帯をかえて活動しているので、それぞれ自分の都合にあわせて参加している。永く続けている人、2、3回で来なくなる人、転居や転職で来られなくなる人、半年ぶり一年ぶりに参加する懐かしい笑顔、インターネットで知る人、区役

所で情報をもらう人、知人友人からの口コミで参加する人、帰国した友人から母国でこの教室の事を聞き来日後参加してくる人など、10年余の活動を続けて来た理由のすばらしさも感じる。

いつでも誰でも参加できるのが、この教室の長所でもありまた弱点でもあるが、無数の「出会い」と「別れ」を体験しながらボランティアと学習者が、お互いに知識を学びあえる小さな異文化交流が今日も生まれる。しかしボランティア教室に来て少しづつ日本語を習得し、日本人と小さな交流が持てる学習者はまだ恵まれていると思う。地域には日本語を覚えたくてもその余裕がなく、不自由な住民生活をしている外国の人達がたくさんいる事を忘れてはならない。益々複雑になる地域の国際化に、ボランティア日本語教室に出来る事は何かのかが問われているのではないかと思う。



東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
 東京ボランティア・市民活動センター
 メールボックスNo.4
 TEL: 03-3235-1171
 (呼び出し:金曜日午後のみ)
 FAX: 03-3235-0050
 E-mail: webadmin@tnvn.jp
 URL: http://www.tnvn.jp/

事務局は下記の通り活動しています。

- ◆日時: 毎週金曜日
 第1、第3、第5、金曜日午後2時～4時
 第2、第4、金曜日午後2時～7時
- ◆場所
 東京ボランティア・市民活動センター

TNVNへの入会を希望する方

TNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。

(送料90円切手同封)

- ◆入会手続
 申込用紙に必要事項を記入し、TNVN事務局に郵送またはFAXでお送り下さい。E-mailでも申し込めます。あわせて会費をお振り込みください。会員の方には毎回ニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ参加できます。

- ◆会費
 正会員: 年会費3,000円
 協力会員: 年会費2,000円
 賛助会員: 年会費1口1万円

- ◆会費払込み先
 郵便振替口座番号00100-1-719259
 ◎口座名
 東京日本語ボランティア・ネットワーク
 (通信欄に『年会費』と記入)

日本語ボランティア相談窓口

事務局では日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にベテランスタッフがおこたえます。電話でご確認の上、お気軽におこしてください。またE-mailでも応じております。

「日本語ボランティア入門講習会」閉講します。

毎月2回(第2・4金曜日) TNVN 独自の内容で多数の方々に受講いただきました「日本語ボランティア入門講習会」を3月26日を以て閉講とさせていただきます。長い間多くの方にご協力いただきました。ここでお礼申し上げます。なお今後は不定期に日本語ボランティア講習会を開催して行きたいと考えています。

TNVNスタッフ募集!

TNVNの事務局スタッフ・ニュースレター編集員にTNVNスタッフと一緒にボランティアでご協力いただけませんか。ご一報をお待ちしています。
 E-mail: webadmin@tnvn.jp

第11回総会開催のお知らせ

下記の通りTNVNの第11回総会を開催します。会員各位のご出席をお願いします。

- ◆日時: 2004年4月18日(日)
 午後1時30分～4時30分
- ◆場所
 東京ボランティア・市民活動センター
 B会議室
 JR飯田橋駅隣接 セントラルプラザ10階
 東京都新宿区神楽河岸1-1

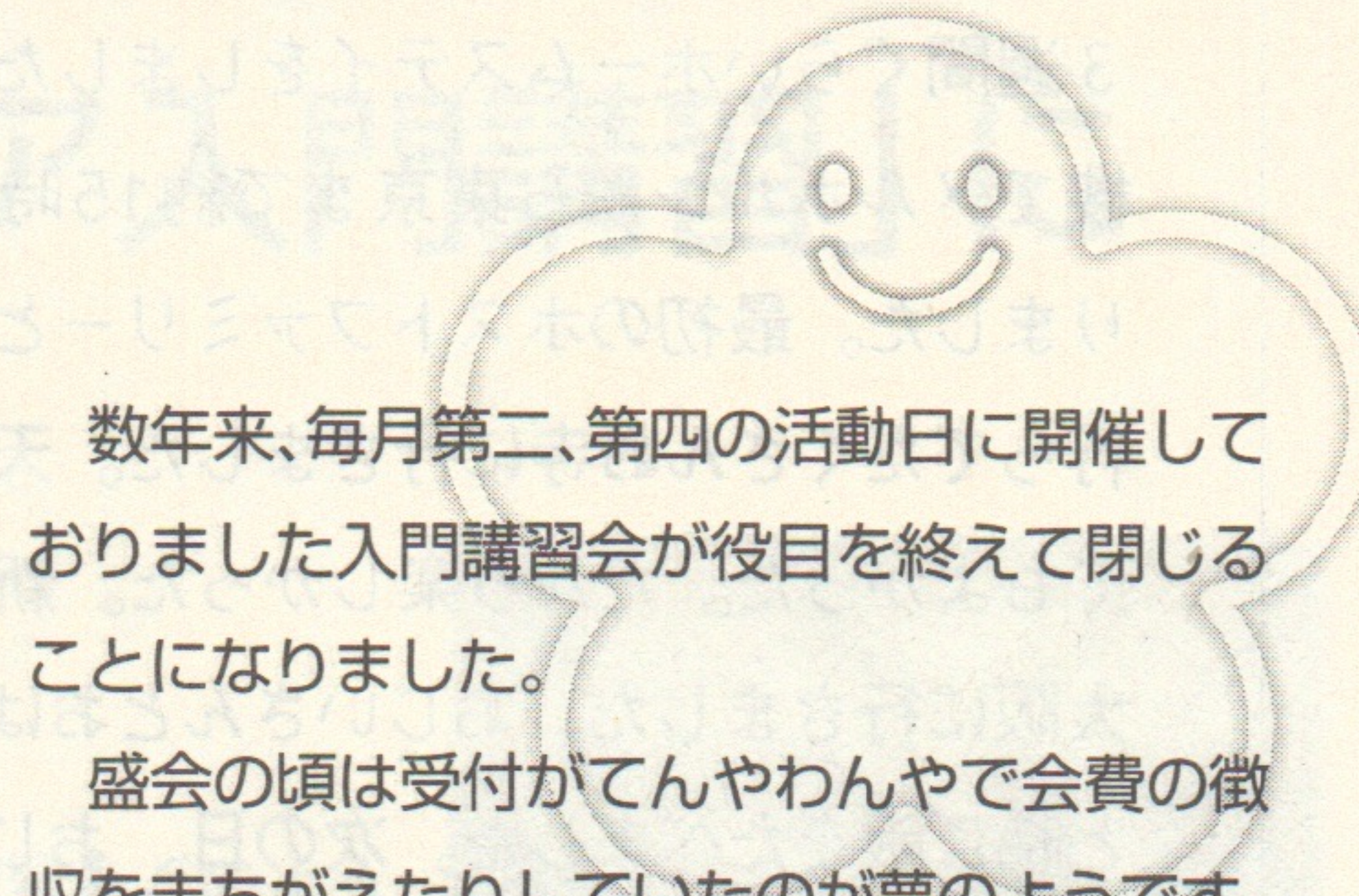
1…総会/13:30～14:30

- ◎議題
 ①2003年度活動報告、会計報告、監査報告
 ②新役員選出
 ③2004年度活動計画、予算案
 ④その他

2…講演・懇親会/14:45～16:30

- ◎講演
 ◎講師: 春原憲一郎氏(財)海外技術者研修協会AOTS日本語教育センター長
 ◎演題: 日本語ボランティアの学習支援での教材について(仮称)

- ◎懇親会
 講演に引き続き参加者による懇親会を行います。

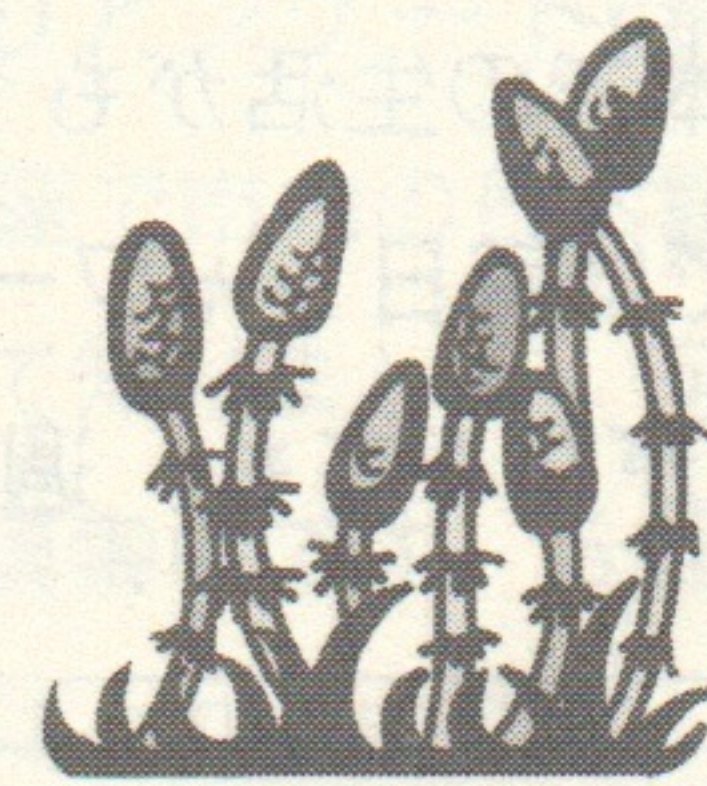


数年来、毎月第二、第四の活動日に開催しておりました入門講習会が役目を終えて閉じることになりました。

盛会の頃は受付がてんやわんやで会費の徴収をまちがえたりしていたのが夢のようです。ここ一、二年は地域の方で講習会や初心者養成に熱心に取り組むようになり、ネットワークの入門講習の受講者が減っていました。最近では運営委員や役員で講師をつとめ一人二人の受講者にも丁寧に対応していました。

私は開設当時から昼の部の受付を担当し、ずっと入門講習会を見てきましたが、たくさんの方に日本語ボランティアをするための力になったと確信しています。私自身が一番たくさん講師の方々のご努力で素晴らしいお話を聞いてボランティアを続ける力となったと感謝で一杯です。

ちょっぴり淋しい気がしますが、今年三月末をもって入門講習会を閉会いたします。長い間沢山の皆様のご協力ありがとうございました。



小川伶子

●新会員のご紹介

- ◎正会員
 ◆にほんご学習 すきなみの会
 ◆東村山地球市民クラブ(再加入)

- ◎協力会員
 ◆光田 由起子

*2003年2月15日現在の会員数
 正会員: 64団体 協力会員: 78名
 賛助会員: 4団体

◎訂正とお詫び
 NL44号で記載に誤りがありました。訂正しお詫びします。

- ◆正会員
 正: 土曜日本語サークル
 誤: としま火曜日本語サークル
 削除: 東京キリスト教女子青年会



- 編集/岡田美奈子、梶村勝利、木村茂、床呂英一、西岡暉純、林川玲子、山本敬子
- レイアウト/鶴田環恵